

トレッキング、歴史探索コースに

【留萌】NPO法人増毛山道の会伊達東会長）と留萌振興局が2011年度に実施した、増毛山



第2回体験トレッキングで山道を歩く参加者

道体験トレッキングのアンケート結果がまとまった。トレッキングコースや歴史探索コースとしての利用を求める声が半数以上あり、今後も「歩きたい」との意見が8割以上を占めた。全線復元については「できるだけ早く復元を」と「利用状況を見て判断」が共に46%だった。

増毛山道は、暮末に場所請負人・伊達林右衛門が私費で開削した、増毛山地を越える陸上交易ルート。増毛町別荘―石狩市浜益区幌までの26・8キロ、途中増毛町岩尾へ抜ける5キロの延べ31・8

キロからなる。このうち、別荘から岩尾分岐までの10・8キロと岩尾分岐から岩尾までの

増毛山道体験アンケート

5割が早期復元望む

抜け道ルート5キロの伐採作業が10年度に終了。11年は今後の利用の在り方を検討するため、試験的に復元を終えた約16キロ区間で体験トレッキングを行い、参加者のうち実際に山道を歩いた79人にアンケート調査を行い、38

だけ歩いたもののアンケートは取っていない。ほかの3回もそれぞれスタート地点が異なり、距離も第2回は約10キロだった。天候も4回目は晴れ、2回目は途中から晴れた。コースに関しては、

「歩きやすい」が51%、「歩きにくい」が49%とほぼ同数で、歩きにくい理由として「刈ったササが滑る」などササに関する理由が多かった。その一方で、整備状況については「十分」が41%、「お

おむね整備されている」が59%で整備に関しては特に不満はなかった。難易度は「やや難しい」が41%、「難しい」が8%、「やや易しい」が32%、「易しい」が19%。全体的に見ると、「難しい」と「易しい」がほぼ同数

だった。景観については「普通」が61%、「素晴らし」が25%、「特に見どころはなかった」が14%で天候の影響もあるものの、ビューポイントや歴史遺産などをまとめる必要があるとしている。コースの長さは「ほどよい」が54%、「長い」が38%、「短い」と答えた5%（2人は第2回の参加者だった）。今後の利用については「歩きたい」が81%で、理由として複数回答ながら「トレッキングが好きだから」57%、「古道を歩いてみたいから」49%、「電柱や駅通跡に歴史を感じるから」41%、「豊かな自然を実感できるから」35%で、増毛山道特

有の魅力として歴史的背景も多かったとしている。石狩市浜益区幌までの全線復元については「できるだけ早く復元を」と「利用状況を見て判断を」が共に46%だった。この結果について、増毛山道の会事務局の小杉忠利小杉測量設計社長は、維持管理面では「ササ刈りについてはもう少し検討したい。ビューポイントなどについても新しいパツレットを作って分かりやすくしようと思っている」とした上で「新年度は、体験トレッキングを継続実施するとともに、新たに地元の子どもたちにも歩いてもらえるよう考えている」と述べた。

人から回答を得た。回答者の7割がトレッキング経験者。また8割が50歳以上だった。

体験トレッキングは4回実施したが、第3回は集合後大雨のため中止を決定し、別荘口から2

「歩きやすい」が51%、「歩きにくい」が49%とほぼ同数で、歩きにくい理由として「刈ったササが滑る」などササに関する理由が多かった。その一方で、整備状況については「十分」が41%、「お

おむね整備されている」が59%で整備に関しては特に不満はなかった。難易度は「やや難しい」が41%、「難しい」が8%、「やや易しい」が32%、「易しい」が19%。全体的に見ると、「難しい」と「易しい」がほぼ同数